

ものれ〜る 41号



平成 25 年 10 月 15 日 発行

ご意見・ご感想をお寄せください。

発行 武蔵村山市都市整備部多摩都市モノレール推進担当

Tel 042-565-1111(内線 272)/Fax 042-566-4493/E-mail tamamono@city.musashimurayama.lg.jp

多摩都市モノレール延伸PR用懸垂幕に標記するキャッチフレーズが決まりました

モノレールもっと身近に!!この街に!!

市役所市民駐車場に掲げてある懸垂幕に標記するキャッチフレーズを7月に募集したところ、市民の皆さまから約 40 件の応募がありました。この中から厳正なる審査の結果、市内学園在住の方から応募のあった「モノレール もっと身近に!!この街に!!」が、市民の想いを的確に捉え、市民に親しみの持てるものだと、キャッチフレーズに決定しました。

市では、このキャッチフレーズを用いて今後とも推進PRに努めてまいります。



モノレール延伸PR 名刺 を使おう!

モノレールもっと身近に!!この街に!!



武蔵村山株式会社 宣伝部
係長 村山 太郎

〒208-0004 武蔵村山市本町〇-〇-〇
電話 042-565-0000
FAX 042-563-0000
Mail 〇〇@〇〇〇.ne.jp

今こそ心を1つに!

モノレールの導入空間となり得る新青梅街道の拡幅整備が順次行われている今が、モノレール延伸整備を要望するチャンスです。

そこで、市民と市職員で同じデザインの名刺を使い、市が一丸となって延伸への想いを伝えましょう。使用方法などは、ホームページをご覧ください。

モノちゃん募金

モノちゃん(多摩都市モノレール)募金は、延伸実現時の武蔵村山市らしい駅前広場の建設や、自転車置き場の整備などに使わせていただく予定です。10月26日(土)、27日(日)の村山デエダラまつりで街頭募金を行います。皆さまのご支援・ご協力をお願いします。



9月30日までに集まった募金は、55,892円になりました。

注目

多摩都市モノレール推進担当と都市計画課
で第8回村山デエダラまつりに出展します。



MMシャトル & モノレールでGO!

10月26日(土)・27日(日)



「モノレールを呼ぼう! 市民の会」による山車運行

「MM シャトル&モノレールでGO!」ブースでは、MM シャトルとモノレールの「いろいろ」、なつかしいポスター、懸垂幕キャッチフレーズの応募作品などを展示します。来場しアンケートに答えていただいた方には、粗品プレゼントもあります。

モノちゃん募金、モノレールのび〜るシャープペンの販売も行います。

市民の意見

1

9月8日(日)に、市民討議会(公益社団法人立川青年会議所主催)が行われ、37名の市民の方が、「武蔵村山の近未来を考えてみませんか?」というテーマについて熱い討議を交わしました。

モノレール延伸は、市民の悲願であり、まちの活性化のためにはモノレール延伸が必要だが、課題となる「採算性」を高めるためには、魅力ある武蔵村山をつくらなくていけないという意見がありました。

市内には、魅力ある観光施設があるのだから、通年で参加できるイベントなどを工夫して行い、うまくPRすることで、集客できるようになるだろう。観光スポットを単独でPRするのではなく、複数のスポットを連携してPRした方がよいなどの提案がありました。

市に対しては、市民にだけではなく都民全体に対して、武蔵村山市の魅力やモノレール延伸のPRや、モノレール延伸やまちづくりなどの情報提供をしていくことが求められました。



延伸に向けた現状や課題については、パンフレット「みんなの願い! 多摩都市モノレール延伸!!」をご覧ください。パンフレットは、都市計画課窓口や市内公共施設においてあるほか、市ホームページからダウンロードできます。